

# 生産性向上及び高付加価値化 に向けた取組について

三重県知事 鈴木 英敬



平成31年4月15日

経済産業省 産業構造審議会 2050経済社会構造部会（第5回）

# 1. KUMINAOSHIの産業政策

平成30年11月に策定した「みえ産業振興ビジョン」では、

**「KUMINAOSHI」** をキーワードに掲げ、県の産業政策の方向性を提示

## めざすべき産業の姿（3つの視点）

1

第4次産業革命  
への適応

2

「若者」に魅力ある  
しごとの創出

3

「**KUMINAOSHI**」  
による新しい価値の  
創出

## KUMINAOSHI

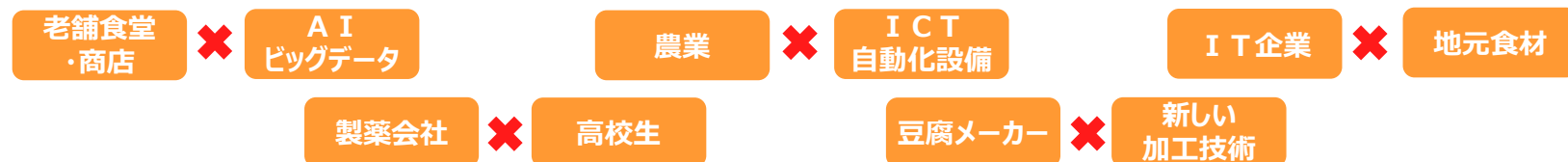
みえ産業振興ビジョンでは、「企業活動や地域活性化の取組などにおいて、人材や技術、地域の資源、ビジネスなどのさまざまな要素について、既存のものだけでなく新たなものを積極的に取り込み、それらを組み合わせたり、繋ぎ直したりすることで、イノベーションを起こし新たな価値の創出につなげること」と定義

## 基 本 理 念

**既存価値を超え、KUMINAOSHIの産業政策で若者が躍動する三重**

～知恵や知識、技術を組み合わせ・繋ぎ直し、共感と協創による新しい三重の産業創出～

「組み合わせ」や「繋ぎ直し」による新しい価値の創出



**イノベーションによる高付加価値化の実現**

本庶 佑 氏（京都大学高等研究院特別教授 平成30年ノーベル医学生理学賞受賞）

イノベーションは創造ではない。優れた技術や発見をどう活用するか、です。iPhoneは既にあったものを組み合わせ、新しい製品にした。」（出典：朝日新聞（平成31年3月31日）朝刊「平成31年3月9日 ノーベル医学生理学賞受賞記念講演会」）

## 2. KUMINAOSHIによる新しい価値の創出①

### KUMINAOSHIの中でも、特に第四次産業革命とシンクロした事例

#### 農業 × ICT自動化設備

##### 株式会社浅井農園（三重県津市）

育種及び栽培技術等の研究開発、野菜果実の生産及び流通開発  
正社員平均年齢：30代前半

- ICT活用による生育データの集約、AIによる生産改善
- 品種開発や高度栽培技術（浅井農園）とロボット等自動化技術（デンソー）を統合

- ミニトマト**生産量**は慣行の施設栽培の**約3倍**
- 地域雇用の拡大、子育て世代や障がい者が安心して働ける職場を実現
- 約12.8haの次世代型施設園芸、夜間の自動収穫へ  
海外研修生、大学院卒IT技術者などの多様な人材  
全体の**約8割が女性、障がい者雇用率は16%**



#### 老舗食堂・商店 × AI・ビッグデータ

##### 有限会社るびや（三重県伊勢市）

内宮近くの老舗食堂、小売店。現社長は妻の実家を継承

- 画像解析AIやビッグデータを活用し、来客予測、顧客の属性・志向の分析、従業員の動線短縮を実現

- 6年間で**売上4倍**
- 1人当たり**生産性が10倍**
- **有給休暇消化率80%**
- **食品ロス7割削減**
- 社員の**給料アップ**

食ベログ低評価から、一躍繁盛店へ  
自社開発したAIデータ解析ツールの全国展開中  
パソコン初心者の接客担当者が、データサイエンティストとして活躍



共通点：従業員の活躍する場づくりやモチベーションアップにも熱心に取り組んでいる

## 2. KUMINAOSHIによる新しい価値の創出②

### 三重県内における「組み合わせ」や「繋ぎ直し」による新しい価値の創出例

#### I T企業 × 地元食材

**株式会社ディーグリーン**  
(三重県紀北町)  
ホームページ制作会社

地元の水産業界と提携し、地元で水揚げ・加工した、骨を取った魚のベビーフードを開発。オンライン販売で、首都圏でも成功。

2017年度グッドデザイン賞受賞



#### 製薬会社 × 高校生

**万協製薬株式会社**  
(三重県多気町)  
製薬会社

高校生が企画・提案する形で、地域資源を生かした化粧品シリーズを開発。平成24年度以降、毎年製品化。

第6回ものづくり日本大賞  
経済産業大臣賞受賞



#### 豆腐メーカー × 新しい加工技術

**株式会社横山食品**  
(三重県津市)  
豆腐メーカー  
**創業以来、3代続けて  
女性経営者**

豆腐メーカーが新しい加工技術で、県産食材を活用した高付加価値な豆乳を開発し、豆乳市場に新規参入。

FOODEX 美食女子グランプリ  
2018 金賞受賞





### 3. オープンイノベーションの促進（東京大学との連携）

- 東京大学と三重県は、相互に連携・協力する協定を締結（平成30年11月）
- 東京大学地域未来社会連携研究機構の全国初のサテライト拠点が四日市市内に設置（平成31年2月）
- 東京大学の「知」を活用した地域課題解決や人材育成、県内高等教育機関の魅力向上に関する取組実施
- 東京大学、三重大学、AMIC（高度部材イノベーションセンター（三重県））は、それぞれの機関が持つ知識、技術、ノウハウ、ネットワーク等を活用した相乗効果を通じてオープンイノベーションを図り、県内企業の競争力強化につなげる

#### 【今後、期待される取組例】

##### 工場のスマート化・スマートコンビナートの形成

I o T化・A I導入等による仕事の効率化、担い手不足解消、働く場の魅力向上を目指す



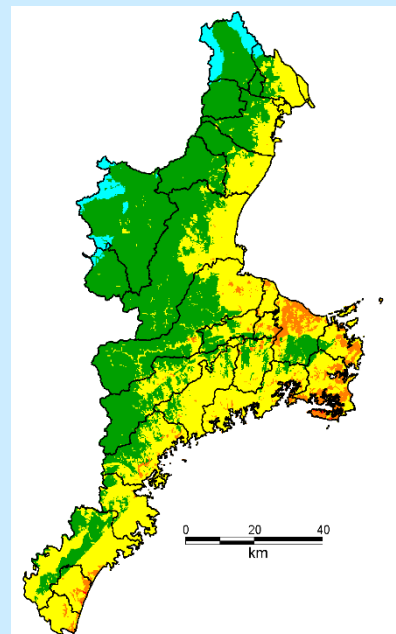
##### 地理空間情報を用いた災害対応

過去の災害履歴情報をAIにより分析、人口分布の変化、温暖化による豪雨・高潮といった変動要因も考慮して、災害対応シナリオを整備



四日市市内の同一施設に、東京大学及び三重大学のサテライトとAMICが拠点を構え、イノベーションを誘発

平成31年2月22日協定締結



震度階級

|    |
|----|
| 7  |
| 6強 |
| 6弱 |
| 5強 |
| 5弱 |
| 4  |

# 4. リカレント教育拠点（三重大学）

## ■ 転職活動経験者のうち、約 9 割がキャリアアップを望んでいる、そのうち

- ・「給与や労働条件の改善が可能なら取り組みたい」（35.7%）
- ・「時間や機会がない」（20.9%）
- ・「金銭的に余裕がない」（12.5%）

## ■ 転職者を年代別にみると、

- ・若い年代は、前職とは異なる職種への就業割合が大
- ・50代、60代は、前職と同じ職種への就業割合が大

（三重県産業支援センター「H30転職・労働意識調査」）

給与等にしっかりと反映できるよう環境整備が必要

多様なスキルを身に付けられるよう、リカレント教育の機会を確保すべき

## 三重大学 地域イノベーション研究開発拠点（平成26年完成）

意欲のある若者や経営者の交流の場となり、人的ネットワークの形成に寄与

### 地域イノベーション学研究科

- ・実践的な取組を題材として教育・研究を行う大学院として平成21年設立
- ・ビジネス界で活躍できる研究開発系人材の養成に特化した教育を実施
- ・地域企業の経営者を社会人学生として受け入れ、教育と研究を通して新たな事業創出につなげる

ミッションは、地方産業の振興に貢献

### 地域戦略センター

（平成23年創設、平成30年度～地域創生戦略企画室）

- ・地域シンクタンクとして、自治体から依頼されたプロジェクトに取り組み、地域課題解決に向けた新たな仕組み・手法を創出
- ・地域リーダーの育成

### 地域イノベーション学会

産官学による地域発のイノベーションを生み出す、研究や実践の交流・報告の場  
名誉顧問 三重県知事  
理事長 (株)マスヤグループ社長

### ◆ 社会人学生として受け入れた地域企業経営者による新たな事業創出の事例

- ・新ブランドのビールの製品化・拡販、その品質は世界的な評価を獲得
- ・IoT技術を活用した日本で最も収益性の高い農業を実現
- ・AIを食堂経営に取り入れ生産性向上を実現、AIビジネスツールの提供開始

